

アミール・ツアルファティ
[2024年9月28日 ニュース速報]
ハッサン・ナスララ死亡
<https://youtu.be/ySXkMD3T2Y0>



シャローム、皆さん。アミール・ツアルファティです。シャバット・シャロームと言わせてもらいましょうか。今は安息日です。私は自宅の地階にいて、すぐ隣には防空用シェルターがあります。私たちは何度か集中砲火を受けました。しかし、この速報を伝える本当の理由は、ついに、イスラエル国防軍が、ヒズボラの指導者ハッサン・ナスララが

ベイルートの南郊外、ベイルートのダヒエにある彼の本部に対する昨日の大規模な空爆で確かに抹殺されたことを、正式に発表したためです。彼の他に、3番手のアリ・カラキなど、多くの手腕の高い人物が殺害されました。覚えているでしょうか、数日前、我々は彼の殺害を試みましたが、彼は負傷しただけで、ヒズボラは、彼は死んでおらず、安全な場所に移送されたと述べました。まあ、彼が移送された場所は、彼の墓地となったわけです。つまり皆さん、1番手、2番手、3番手、

The Military Chain of Command of the Hezbollah Terrorist Organization



ヒズボラの最高司令官は全員、抹殺されました。こちらのテレグラムの QR コードをスキャンしてください。テレグラムにリストを載せてあります。ヒズボラの指導者たちは全員死亡し、現在、ヒズボラには、数千人の従業員、数千発のロケット弾、数百本のトンネルが残っています。これから先、イスラエルは、これらに対処せねばなりません。私たちは先週以来ずっと、彼らに警告してきました。彼らが攻撃を止め、ガザで起きていることと彼らの活動と結びつけるなど、馬鹿げたことを止め、リタニ川の向こう側に撤退して、我々の市民が自宅に帰れるようにしなければ…彼らがそうしないなら、我々は力づくでそれをせざるを得なくなる、と。それは先週の火曜日に始まりま

たことを止め、リタニ川の向こう側に撤退して、我々の市民が自宅に帰れるようにしなければ…彼らがそうしないなら、我々は力づくでそれをせざるを得なくなる、と。それは先週の火曜日に始まりま

した。約 11 日前、ポケベル攻撃があり、続いて無線通信機攻撃があり、次に、ラドワン軍の上位 16 人の司令官が地下で抹殺されました。そして先週、さらに 2 名が抹殺されました。ロケット弾アレイの指揮官と UAV（無人航空機）アレイの指揮官です。彼らも全員が死亡しました。そしてもちろん、アリ・カラキです。我々は先週、彼の殺害を試みましたが、先週はそれに失敗しました。しかし、昨日の攻撃は誰にも生き残るチャンスを残しませんでした。イスラエルは 3 分未満の内に、F-15 を行き来して飛行させ、さらに多くの爆弾を投下しました。これらは 1 ~ 2 トンの爆発物で、掩蔽郷を破壊する爆弾です。そして私たちは合計約 85 トンの爆発物をこの地下壕の上に投下し、そこにいた者は、誰にも生き残るチャンスを与えませんでした。

さて、皆さん、はっきりさせておきます。ところで、もし空襲警報が鳴ったら、私はこの動画を流したままで家族と一緒に防空シェルターに逃げ、また戻ってきて続きをします。ライブ配信は続けます。ですから、もし画面に私が映っていなければ、私たちが 10 分間、防空シェルターにいなければならないからです。発射物や、迎撃機の部品が落下してきて負傷する可能性があるためです。

そういうわけで、要するに、皆さん、私にはどこから始めていいかも分かりません。なぜなら、昨日それが起こったことを報告したとき、私はナスララがそこにいたことを知っていましたし、イスラエルは、彼がそこにいることを 1000% 知っていない限り、6 軒の住宅用建物をすっかり破壊するよう



なことは決して絶対にしないことを知っていたからです。

実際、彼がそこにいる兆候があるという情報は、午前中に既に受け取られていて、ネタニヤフ首相は、国連で演説する数分前に抹殺を承認していました。そして、彼が演説を行っている最中、彼が演説を締めくくっている時に、F-15 が離陸し、演説から 20 数分後、ニューヨーク

の国連本部での記者会見の最中に、彼はその任務が完了したという知らせを受け取ったのです。

しかし、少しさかのぼって、たしか 4 日前の月曜日だったと思います、月曜日に閣議が開かれ、この作戦を承認する決定をしました。しかし、我々は適切な瞬間を待たねばならないことを知っていま

した。つまり、承認は内閣によって与えられましたが、実際に防衛大臣にゴーサインを出す権威が与えられるのは、作戦行動可能な機会が生じる時です。

さて、人々が木曜日の朝、目覚めると...これを聞いてください。イスラエルの人々は木曜日の朝目覚めると、停戦になるかもしれないというニュースを聞き、ここでは誰もが激怒しました。「停戦とはどういうことか。」「停戦は起こらない、やっと、私たちは勝利しているのだ。」ここでは誰も、ネタニヤフ首相と軍司令官が理解していることを理解していませんでした。これはすべて陽動作戦です。ネタニヤフ首相は、停戦が検討されていて、何も変わったことがないことを示すために、国連に向かって飛び発ち、ナスララは餌に引っ掛かって、地下壕にやって来ました。彼は、イスラエルのメディアや政治の中毒になっていますから。彼は地下壕の中で、彼の最高指揮官たちに囲まれて座っていました。よく聞いてください。その中には、イランの将軍もいました。彼らは皆、ベンヤミン・ネタニヤフ首相がイランに対し、もしイランがイスラエルに向かって何かを送ってきたら、イランは直ちに攻撃を受けると脅すのを見ながら、ネタニヤフ首相が、この抹殺の後のことを話しているとは、全く理解していませんでした。皆さん、理解してください。ナスララがこの演説を見ながら、停戦が実現するかもしれないと考えていた時、F-15が離陸し、彼と、イラン革命防衛隊の高官を含む、彼の幹部全員を抹殺したのです。大打撃です。

さて、昨夜私たちがしたことは、それだけではありません。それに続いて、その地域で非常に混乱が生じたため、イスラエルは次のように発表しました。3つの特定された建物に住んでいる人々は直ちに避難しなければならない。非常に精巧な沿岸対海洋誘導ミサイルの存在を、我々は知っていたためです。つまり、それらが私たちの海軍艦艇に脅威を与えていたのです。我々は、それらが集合住宅の下に保管されていることを知っていました。さて、ヒズボラにはそれらを撤去する時間はなく、20分後、イスラエルは、それらの建物とロケット弾を攻撃して破壊しました。これにより、我々は直ちに軍艦を派遣し、ベイルートにあるヒズボラの戦略兵器を空から、そして今度は海からも攻撃し始めることができましたのです。驚愕です。レバノンの地には一人の兵も入っていません。それでも、我々はヒズボラを完全に機能不全にすることができました。

さて、彼らが機能不全だとどうしてわかるのか？なぜなら、今朝でさえ、彼らが送り続けた弾幕は、ロケット弾5発とか10発、15発です。これが、2週間前に、「もしそのようなことが起こったらヒズボラはどうするだろうか」と尋ねていたなら、誰もが、「彼らは数千発ものロケット弾を発射するだろう」と予測したでしょう。ハマスが10月7日に活動を開始したとき、彼らは、最初の数時間で、2,500発のロケット弾を発射しました。2500発です。しかし、ヒズボラには15発がやっとです。ですから、我々は彼らを機能不全にしました。そして今度は、第4…だったと思いますが、第4段階として、彼らの指揮官たちが全員なくなった後、今度は、我々は、彼らの主要な戦略兵器の保管場所をピンポイントで狙います。そして、はっきりと言っておきますが、イスラエル北部に対する、第二の10月7日を引き起こす可能性のあるものを除去するためには、地上作戦以外、他に方法はありません。レバノン南部はトンネルでいっぱいです。私たちはそれを知っています。

そして、信じられないかもしれませんが、10月7日のアイデアは、ハマスのものではありませんでした。ハマスは、ヒズボラからそれを学び、ヒズボラから盗み、ヒズボラにそれが可能になる前に、ハマスがそれを実行したのです。ご存知かどうかは分かりませんが、ラドワン軍と呼ばれる特殊部隊が存在し、彼らのすべての作戦、彼らの存在理由はすべて、ガリラヤに入って占領することです。殺人、斬首、強姦。しかし、最も重要なのは、誘拐です。ガリラヤを乗っ取ること、ナスララは、自分の計画を決して隠しませんでした。彼の兵士たちも、自分たちの計画を決して隠しませんでした。我々は、彼らが何を計画していたのかを示す動画を持っています。まさにこの理由で、先週の金曜日、我々は、ラドワン軍の指導官全員の頭上に爆弾を投下したのです。彼らは、10月7日を北から実行するために集まっていたところでした。しかし、今や、我々は彼らを全員殺害し、戦闘能力をできる限り排除しました。そして今度は、彼らが我々に奇襲を仕掛ける能力を奪います。そのために、我々は、最初に重砲、次に戦車、それから歩兵で侵攻せねばなりません。我々はすべてのトンネルを見つけて破壊せねばなりません。そして私たちは、レバノンのいたるところにいる何千人ものヒズボラの武装テロリストを排除せねばなりません。それは、簡単なことではありません。しかし今、彼らは混乱し、逃げ惑っていて、彼らは今、まさに現在ガザにいるハマスと同じです。皆さん、この12時間または16時間に起こったことは、どこから始めて良いのかさえ分からないほどで、過去30年間における、イスラエル最大の頭痛の種が、今、ほんの10~12日間で取り除かれようとしているのです。驚愕です。

内閣が、北部を戦争の目標に加えるという決定を受け取った瞬間、流れが変わりました。また、我々が1年近くも待ったのには、理由がありました。私たちは南部に焦点を当て、拉致被害者が解放されるか、あるいは彼らを発見する時間が必要でした。私たちは、それを終わらせる必要がありました…なぜなら、もしハマスがまだ権力を握っていたら、私たちが今レバノンで行ったことで、南から何百発ものロケット弾が飛んで来ることは、想像できます。しかし、この2週間ほど、ガザからは、一発のロケット弾も飛んできていません。何もありません。我々は、ヒズボラの上層部を全員殺害したのです。

それだけではありません。イランが恐れています。なぜなら、国連でネタニヤフ首相がイランに通告したことを、イランは分かっているからです。我々は彼らに告げました。「何もしない方がいい。お前たちが攻撃した瞬間に、我々は強力に攻撃する。」それから、イランに最も打撃を与えるものが2つあります。イランの製油所と石油産業、そして核施設です。これら2つはまさに、イランが何かをするようなことがあれば、排除したいとイスラエルが考えているものです。イランは、我々に口実を与えることを恐れています。ヒズボラは我々に口実を与えました。ヒズボラが戦争を始めたのです。イランは、ルールが変わったことを理解しています。イスラエルは今、徹底的にやるつもりです。私たちは、国際社会のことは気にしません。私たちは反ユダヤ主義者たちや、私たちが報復するときだけ立ち上がる愚か者たちのことなど気にしていません。11か月間、我々は、数千発のロケット弾を浴びてきて、イスラエル国内で8万人近くが難民となりました。しかし、世界は気にもかけなかったのです。それが、私たちが反撃すると、突然、「ああ、停戦を、ああ、停戦を。」マクロンやその他、色々な愚か者たち、彼らは、非常にあからさまです。しかし、私たちはもう気にしません。これは良いことです。誰かさんが目を覚まして、現実気づき、自分たちの手で物事を解決する時期が来たと理解したのです。私たちは、外交的解決のチャンスを与えました。それを彼らが逃したのです。シーア派は外交解決など、全く関心がありません。彼らは、自分たちの計画を進めたいのです。彼らの計画とは、イスラエルの殲滅、彼らの計画とは、核兵器の所持、彼らの計画とは、シーア派イスラム教の拡散です。

それから、皆さんに次の事も伝えておきます。今、どれだけのスンニ派のアラブ系イスラム教徒が喜んで祝っているのか、皆さんには見当もつきません。私のテレグラムチャンネルにアクセスしてください。動画が見られます。彼らは大喜びで、バクラヴァを食べ、祝っています。それだけでなく、アラブ人の中で、今どれだけの人がネタニヤフを称賛しているか、見当もつかないでしょう。イスラエルはともかく、アラブ人、スンニ派アラブ人たちが、動画の中で賞賛している人物？彼らが戦争犯罪者とか、殺人者、ナチスと呼んでいた人物です。その彼が、突然彼らのヒーローになったのです。なぜなら、彼が徹底的にやって、レバノンでヘビの頭を殺し、テヘランにあるタコの頭を殺す、と脅しているからです。我々は、レバノン国家に大きな恩恵をもたらしました。そしてもし我々が、（タコの頭を）排除すれば、イランにも大きな恩恵をもたらすでしょう。

しかし、ここで預言的な話です。私は数時間前に、昨日ニューヨークで行われた会談に関して投稿したのですが、昨日、ニューヨークで、3人の外務大臣が会談しました。ロシアの外相、トルコの外相、イランの外相です。おなじみですね？この同盟がわかりますか？それについて書かれている聖書の箇所がわかりますか？その通りです。残念ながら、私は、我々が今すぐにイランを崩壊させることはないと思います。私が思うに、イランの崩壊は…私が言っているのは、イラン・イスラム共和国のことであって、罪のないイラン国民のことではありません。しかし、イラン・イスラム共和国はエゼキエル戦争で終焉を迎えます。彼らが私たちを滅ぼすことはありません。実際、イスラエルは今、彼らより強く優勢です。私たちにとって、これは、六日間戦争よりも大きな勝利です。皆さんが理解しているかわかりませんが、かなりの短期間で、我々はものすごいことを行ったのです。

しかし、もう一つ理解していただきたいこと、皆さんが理解すべきことは、イランは、その代理組織に頼ることができないのを理解し、そして、イランは今、ロシアやトルコのような、もっと大きな勢力と手を組まなければなりません。まさに、それが、エゼキエルが語っている内容です。ですから、ヒズボラは消滅しなければならず、私たちは、すべての代理組織を片付けます。ご心配なく。間もなく、イエメンが数トンの爆発物を受けます。「間もなく」と言うのは、よく承知の上でのことです。本当です。しかし、次の戦争、大きな戦争、聖書上の戦争は、イランが、ロシアとトルコに加わるときに起こります。繰り返しますが、私のテレグラムチャンネルでは、ハッサン・ナスララが抹殺され

た後に、昨日ニューヨークで撮影されたイラン、トルコ、ロシアの三国の外相の写真があります。非常に不気味で、非常に聖書的で、非常に興味深く、信じがたいことです。

ですから皆さん、私たちはイスラエルのために祈らなければなりません。私たちは今、シーア派の怪物の怒りにさらされています。彼らは、何とかしてこれに復讐し、イスラエル人を痛めつけ、世界中でイスラエルの使節団や大使館を痛めつけることを願って、私たちの周り、私たちのただ中、私たちの上に、テロ行為を実行しようとしています。心配しないでください、私たちはそれに慣れていきます。しかし、レバノンのためにも祈ってほしいのです。レバノンが立ち直って、ヒズボラを追い出せるように。そして、イラン国民のためにも祈ってください。信じてください、イラン国民のほとんどは、イスラム政権を好んでいません。大打撃です。小さなイスラエル、打ちのめされた、ちっちゃなイスラエルが、10月7日の後に目覚め、10月7日の灰の中から立ち上がって、シーア派の枢軸を単独で解体しました。アメリカは？信じられません。暗殺の直後、米国防総省は「我々はそれについて何も知らなかった」と述べました。米国は、シリアとイラクにある、彼らの基地が攻撃されることを非常に恐れて、直ちに、「我々はやっていない」と言いました。これが起ころうとしているのを、アメリカに、少なくとも通告せずに、イスラエルがこれを実行することはないであろうことは、皆さんも想像できるでしょう。実行の何日も前に我々が彼らに伝えたとは思いませんが、実行する数分前には伝えたと思います。「私たちはやります。心配しないで、自分たちで責任をとります。」私たちは、彼らが私たちを止めるようとする時間さえ与えませんでした。皆さん、そういうことです。私たちは一線を引いて、もう十分だと言いました。昨夜、あるいは昨日のこの作戦に名前があるとしたら、「もう十分、これまでだ！」です。

ですから、繰り返しますが、驚くべき陽動作戦というか妙技です。ネタニヤフ首相は、演説をするために国連に飛び…ところで、歴史的な演説でした。演説中、彼はイランに警告しました。「我々を攻撃することなど、決して考えもするな。我々は反撃する。そしてそれは、イランにとって恐ろしい事になる。」そして、(演説の)27分後まで、これが何のことなのか誰も理解していませんでした。F-15が数回出撃し、3分間以内で85トンの爆発物を、ナスララ司令部の敷地の周りに投下して、それを完全に破壊しました。ナスララとともに、3番手のアリ・カラキ、ヒズボラの南部の司令官も抹殺され

ました。イランの将軍たちも死亡し、そして、何人かの宗教家ら、恐らく、イランがナスララの後継として考えていた人物らも抹殺されました。シーア派の間には混沌、混乱、怒り、絶望があります。イスラエルは、その地下壕を破壊しただけではなく、他にも、彼らが形勢を変えるような兵器を保管している場所もいくつか破壊し、私たちの船、海軍艦艇を攻撃するための中国製の沿岸誘導ミサイルも破壊しました。我々は、夜通し形勢を変えるような兵器を破壊し続けました。

午前8時だったと思います。ここで集中砲火が始まり、私たちは防空シェルターに何度か駆け込みました。しかし、私は、各弾幕が5発や10発、15発ほどのロケット弾だったと知って、びっくりしました。普通であれば、今頃はヒズボラが数千発のロケット弾を発射していると予測するでしょう。彼らには出来ないのです。彼らは混乱していて、無線機さえないのです。彼らは、自分たちの無線システムを信頼していません。彼らの指揮系統はすべて失われ、そして、発射機があると分かる所はすべて、我々が破壊しています。攻撃の波は、今後も続きます。ちなみに、私たちは、まだやり終えていません。これはまだ第4段階であって、我々は徐々に強めていきます。次は、彼らの精密誘導ミサイルを破壊し、次は地上から侵入して、国境を越えてイスラエルに入る地下トンネルを破壊し、すべての地下壕と、地下ロケット基地を破壊します。ほとんどのトンネルが砂の中に掘られているハマスとは異なり、ヒズボラの地下壕は、北朝鮮やイランにあるのと同様に巨大です。したがって、大規模なものになります。今後、数か月とは言わないにしても、数週間は、まだ、そこで活動することになります。しかし、少なくとも、我々は蛇の頭を切り落とし、少なくとも、彼らの指揮系統をすべて遮断し、少なくとも、我々はポケベル攻撃と無線攻撃で、彼らを完全に動揺させました。そして、そこが形勢の転換点でした。その時我々はこの卓球を止めました。彼らが撃ち、私たちが撃つ。彼らが撃ち、私たちが撃つ。ポケベル攻撃がすべてを変えました。そしてその時から、12日も経たないうちに、ヒズボラはほぼ消滅しています。驚愕です。

これまで以上に、イスラエルのために祈らなければなりません。私は、天においても、大変な戦いがあると思います。ダニエル12章にあるように、イスラエルの守りを任命された大天使ミカエルが、今、天での大きな戦いに対応していると私は確信しています。イスラエルを滅ぼそうとする勢力が、イスラエルを守るよう神が任命した勢力と戦おうとしているのだと思います。その戦いは起こっています。とにかく、驚きです。皆さんに言うておきますが、これは霊的な戦いであるだけでなく、物理

的な戦いでもあります。そこで私たちは、両方のレベルで祈る必要があります。私たちは霊的なレベルで祈り、同時に、物質的なレベルでも祈らなければなりません。

というわけで、非常に重大なニュースです。正式発表です。イスラエル国防軍は、ハッサン・ナスララと、他にも、ヒズボラの多くの最高幹部ら、そして何人かのイラン人将軍が、ベイルートのダヒエへの驚異的な攻撃で抹殺されたことを、公式発表しました。85 トンの爆弾が投下され、誰にも生き残るチャンスを残しませんでした。繰り返しますが、3 分間で F-15 が行き来して、どんどん、どんどん投下し、その 3 分間が終わる頃には、誰にも生き残るチャンスはありませんでした。面白い事に、彼は、テレビで、ネタニヤフ首相がイランに対し、反撃しないよう脅すのを見ながら死んだに違いないのです。ネタニヤフ首相が、数分後にナスララがいなくなることを既に知りながら演説をしていたとは、ナスララは、全く知りませんでした。ネタニヤフ首相は、ナスララのことについてはほとんど語りもしません。彼が間もなくこの世を去ることを、知っていたからです。彼はイランに対して「我々を攻撃しようなどと思うな」と言っていました。そのため、イランでは大変な頭痛、討議、混乱が生じています。「我々はどうすべきか。もし攻撃しなければ、我々がヒズボラを見捨てたように写り、残りの代理組織に、誤ったシグナルを送ってしまう。だが、もし攻撃すれば、石油産業だけでなく、核施設も危険にさらすことになる。」私は、そのような討議がたまらなく好きです。この混乱や絶望感が、たまりません。敵は確かに打ち負かされています。

締めくくりに…皆さん、これをできるだけ多くの人に拡散してもらえることを願います。ただニュースを伝えているだけではありません。それを聖書と結びつけているのです。これはすべての人にとって、ちなみに、未信者にとっても、非常に重要です。今日、イスラエル全土のシナゴグで読まれた聖句で締めくくりたいと思います。今週のトラー（律法）の箇所は、申命記 30 章からです。申命記 30 章です。皆さんが、その聖句の意味をよく理解できるように、私がその聖句をお読みします。ヘブライ語と英語の両方で朗読します。では。聖書は次のように述べています。

“あなたの神、主は、あなたを迫害したあなたの敵や、あなたの仇に、これらすべてののろいを下される。”（申命記 30:7）

それが神の御言葉です。私は、神の御言葉を固く握りしめています。政治家や、軍の指導者は関係ありません。もちろん、彼らを任命されるのは神です。しかし、大切なのは神の御言葉、神の約束、イスラエルは生きています。太陽と月と星が存在する限り、私たちは滅びることはありません。好きなだけ反ユダヤ主義でいればいいですよ。あなたは救われません。あなたは天国に行けません。あなたは、神の御言葉、神の約束、神の御子、神の本質に関わる全てのことに敵対することはできません。「ああ、私はメシアを愛しているが、彼の兄弟たちを憎む」とは言えません。メシアご自身が言われたのです。「あなたがたが、これらのわたしの兄弟たち、しかも最も小さい者たちのひとりにしたのは、わたしにしたのです。」大患難の最中、イスラエルを助けなかった者は、神が、千年王国に入ることを禁じられます。ですから、反ユダヤ主義者であるという理由で千年王国にさえ入れないのであれば、ましてや、天の神の御国に入ることはできません。正しい側についてください。あなたが真のクリスチャン、真の信者であるなら、イスラエルを支持し、イスラエルが存在する権利を支持するはずですよ。忘れないでください。私たちの望みはただ隣人たちと平和に暮らすことだけです。私たちが破壊し、排除、全滅を願っているのは彼らの方で、それは実現しません。（ヘブライ語：イスラエルは生きています）

ありがとうございます。神の祝福がありますように。これを拡散してください。

皆さんを愛しています。感謝を込めて。



アミール・ツアルファティ テレグラムチャンネル

ビホールド・イスラエル 日本語チャンネル

<https://www.youtube.com/@BeholdIsraelJapanese>

日本語の聖書箇所は特記がされていない限り新改訳 2017 より引用しています。

聖書 新改訳 2017©2017 新日本聖書刊行会

メッセージの無断転載を固く禁じます。

Copyright © ビホールド・イスラエル All Rights Reserved.
